



ゴール後記念撮影する選手・スタッフの皆さん

第18回ふくしま駅伝

ラストラン!!本宮町駅伝チーム 4年連続 町の部入賞

第18回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）は11月19日、53の市町村が参加して、白河総合運動公園から福島県庁までの16区間96・2kmで熱戦が繰り広げられました。

本宮町チームは、通算タイム5時間27分19秒の記録を残し、総合で20位、町の部では4年連続となる7位入賞を果たしました。

昨年は総合15位、町の部6位という好成績でしたが、町として参加することが最後の今年も、4年連続町の部入賞という輝かしいフィナーレを飾ってくれました。



第4中継所でタスキをつなぐ4区西崎選手（右）と5区河野選手



第1中継所を目前に力走する1区橋本選手

総合	20位
町の部	7位 (入賞)

感動のラストラン!!



監督 高橋寛紀さん

王者東和町が抜け町の部は戦国駅伝とまで言われましたが、最後の本宮町として16人の侍が大健闘しました。高校生選手の不足を、男子は日程に余裕のない大学生を2名配置し、女子では中学生を代役に充てました。

前半はチームの勢いが町の部3位まで押し上げましたが、ふくしま駅伝は前半と後半の2つの流れを作らなければならず、後半の流れを最後まで修正できなかったのが選手全員の反省として残りました。

しかしながら1秒の重みを感じながら県庁ゴールまで完全燃焼し、4年連続入賞することができたのは、選手にもチームにも大きな自信となりました。

町長さんをはじめ町民の皆様から本宮町チームに追い風をいただきましたことに深く感謝申し上げます。来年は白沢チームと一致団結し新本宮市チーム結成となります。今後もご支援ご協力をよろしく願っています。